

# 水質汚濁防止法

## 有害物質貯蔵指定施設設置（使用、変更）届出書 記載例

### － 設置届（使用届） 編 －

#### 【注意】

- ・本記載例は、記載方法の一例を示したものです。  
施設の仕様等によっては、記載事項の修正を求める場合があります。
- ・実際に届出をする際は、事前に御相談ください。
- ・提出部数は、正副2部となります。
- ・届出が受理された日から60日を経過した後でなければ、変更のための行為（工事着手等）ができません。提出期日に御注意ください。
- ・手続きが遅延した場合、「遅延理由書」等を添付していただく場合があります。

※本記載例は、法第5条第3項に基づく有害物質貯蔵指定施設の設置届（または使用届）に関する一例です。

法第5条第1項、第2項に基づく特定施設の設置に関しては、「特定施設設置（使用、変更）届出書 記載例」を確認してください。

#### ※使用届について

既に設置済の施設が、法の改正によって新たに特定施設になった場合は設置届ではなく、使用届として届出を提出します。

平塚市 環境部 環境保全課

（最終更新：令和3年6月）

様式第1（第3条関係）（表面）

①

~~特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書~~

②

令和〇年 〇月 〇日

平塚市長 殿

③

住所 神奈川県平塚市〇〇町1-1

届出者 名称及び代表者氏名 〇〇工業株式会社  
代表取締役 〇〇 〇〇

①

電話番号 XXXX-XX-XXXX

水質汚濁防止法第5条~~第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、~~特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇工業株式会社 平塚工場	④	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		平塚市〇〇町×-×	⑤	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類			※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	⑥	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。			
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。			
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。			
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。			
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。			
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。				
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類				
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。			
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。			
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。			
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。			
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。			

## 記載の流れ（様式第一：表面）

### ① 届出の名称、根拠条文等の選択

届け出る内容に該当しない字句は、削除せず二重取消線で抹消します。

- ・ 特定施設・有害物質貯蔵指定施設の選択

--- 有害物質使用特定施設の場合は、特定施設を選択します。

- ・ 設置・使用・変更と条項の対応

--- 設置：第5条第3項、 使用：第6条、 変更：第7条

### ② 届出日

市に提出し、正式に受理された日の日付を記載します。

内容に不備がある場合には受理できない可能性がありますので、  
空欄のまま窓口を持参しても問題ありません。

### ③ 届出者情報

氏名、住所及び電話番号を記載します。

法人にあつては、特定事業場の管理責任を負う代表者（代表取締役や工場長など）が  
所属する住所、社名及び代表者の職氏名を記載します。

※押印に関しては、この記載例末尾の「押印の省略について」を御確認ください。

### ④ 工場又は事業所の名称

届出施設を設置している特定事業場の名称を記載します。

### ⑤ 工場又は事業所の所在地

届出施設を設置している特定事業場の所在地を記載します。

地番から住居表示に改めた場合も含め、前回の届出内容から変更がある場合には、  
こちらの届出の前に、所在地変更に関する「氏名等変更届」の提出が必要です。

### ⑥ 第5条第1項関係の取消し

第5条第1項関係の項目をすべて斜線で取り消します。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	⑧	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 記載の流れ（様式第一：裏面）

### ⑧ 有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の選択

今回届出する施設の種類を選択します。

#### ・有害物質使用特定施設

下水道合流地域における有害物質使用特定施設に関する届出の場合に選択する。

※公共用水域に排水を排出する特定事業場（分流式下水道地域など雨水のみ公共用水域に排出する場合を含む）の場合は、法第5条第1項に基づく特定施設の届出として提出するため、そちらの記載例を確認してください。

#### ・有害物質貯蔵指定施設

有害物質貯蔵指定施設に関する届出の場合に選択する。

※ 欄外の備考についても、事前に確認しておきましょう。

~~有害物質使用特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	フッ酸タンクNo. 1	廃液タンクA-1	①
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設	②
型 式	〇〇社製 FRP製耐蝕タンク 型式：XX-0000I	〇〇社製 貯蔵タンク 型式：XX-0000I	③
構 造	FRP製 構造図：添付〇のとおり	ポリエチレン製 構造図：添付〇のとおり	④
主 要 寸 法	Φ1000 * 3000 [mm]	1000 * 1000 * 2000 [mm]	
能 力	容量 〇〇L	容量 〇〇L	⑤
配 置	〇〇棟1階 貯蔵室 配置図：添付〇のとおり	〇〇棟南側屋外 配置図：添付〇のとおり	⑥
床 面 及 び 周 囲	コンクリート+被覆 床面被覆範囲：添付〇のとおり 床面被覆仕様：添付〇のとおり	コンクリート床面+防液提 防液提範囲：添付〇のとおり 防液提仕様：添付〇のとおり	⑦
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	⑧
工事完成予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	
使用開始予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	
その他参考となるべき事項	新設	新設	⑨

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

## 記載の流れ（別紙12）

※今回は、有害物質貯蔵指定施設を2台設置する場合の例です。

※複数台の設置に関して同時に届け出る場合は、右列に2台目の情報を記載します。

3台以上の届出で列が不足する場合は、複数ページに分けて作成します。

① 施設番号（施設名称）

特定事業場で用いている施設の名称を記載します。

複数の施設で名前の重複が起こらないように注意してください。

② 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別

有害物質使用特定施設と有害物質貯蔵指定施設のどちらに該当するかを記載します。

③ 型式

具体的な装置名・型番、製造会社名等を記載します。

④ 構造

施設の材質等を記載します。さらに、構造を説明する図面を添付します。

⑤ 能力

施設の容量等を記載します。仕様書等の根拠が確認できる資料も添付します。

⑥ 配置

施設の設置場所を記載します。さらに、設置場所を説明する図面を添付します。

図面では、貯蔵液の搬入・搬出の経路も示します。

⑦ 床面及び周囲

特定施設本体周辺の床面について、使用している有害物質の漏洩防止対策として、何らかの被覆処理等を実施している場合は、その床面の被覆範囲と被覆材の仕様を記載します。

仕様については、被覆材のカタログ等により使用する有害物質に耐性があることを示します。

⑧ 設置年月日等

新設の場合は、設置年月日は記載不要です。

工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日を記載します。

【手続遅延の場合の注意】3か所の「予定」の字句を二重取消線で抹消します。

⑨ その他参考となるべき事項

新設である旨など、その他の言及しておく事項があれば記載します。

~~有害物質使用特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	フッ酸タンクNo. 1	廃液タンクA-1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設	
設 備	・ 地上配管	・ 防液提 ※配管等なし	①
構 造	・ 地上配管 塩ビ製	・ 防液提 FRP製（添付〇のとおり）	②
主 要 寸 法	・ 地上配管 50A * 40m	・ 防液提 A * B * C m(外寸) 厚さ X m	
配 置	〇〇棟 1階 配置図：添付〇のとおり	〇〇棟南側屋外 配置図：添付〇のとおり	③
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	
工事完成予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	
使用開始予定年月日	令和 〇年 〇月 〇日	令和 〇年 〇月 〇日	
その他参考となるべき事項	新設	新設	④

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。



## 記載の流れ（別紙13）

### ① 設備

特定施設に付帯する設備を記載します。

設備には、配管等・排水溝等・地下貯蔵施設・床面（防液堤）などが該当します。

※配管は地上配管か、地下配管（トレンチ配管）かを明記します。

### ② 構造

設備ごとの材質等を記載します。

さらに、溜桝や防液堤等については、構造を説明する図面を添付します。

### ③ 配置

設備の設置場所を記載します。さらに、設置場所を示す図面を添付します。

### ④ その他参考となるべき事項

接続する設備について、その他の言及しておく事項があれば記載します。

## **※有害物質貯蔵指定施設（有害物質使用特定施設）の構造等に関する基準について**

平成24年の水質汚濁防止法改正により、有害物質貯蔵指定施設（有害物質使用特定施設）に対する以下の6項目について、届出義務以外にも、構造等に関する基準及び定期点検義務が規定されました。

なお、法改正以前に設置した施設と、法改正後に新設する施設では基準が異なります。（新設の施設にはA基準が適用されます。）

[対象項目]

- |           |       |         |
|-----------|-------|---------|
| ①施設床面及び周囲 | ②施設本体 | ③地上配管   |
| ④地下配管     | ⑤排水溝等 | ⑥地下貯蔵施設 |

~~有害物質使用特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	フッ酸タンクNo. 1	廃液タンクA-1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	有害物質貯蔵指定施設	
設 置 場 所	〇〇棟 1階 貯蔵室 配置図：添付〇のとおり	〇〇棟南側屋外 配置図：添付〇のとおり	
操 業 の 系 統	エッチング工程 (添付〇のとおり)	工程廃液の貯蔵 (添付〇のとおり)	①
使用時間間隔	8:00~20:00	8:00~20:00	②
1日当たりの使用時間	1時間	30分	
使用の季節的変動	なし	なし	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	-	-	③
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)	フッ化水素酸(〇%程度)	硝酸、シアンを含む廃液 (硝酸〇%、シアン〇%程度)	④
その他参考となるべき事項		廃液は、産業廃棄物として処理	⑤

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

## 記載の流れ（別紙14）

### ① 操業の系統

事業所の操業の系統のうち、対象の指定施設が関係する一系統について、操業の系統図を添付して示します。

（例）操業の系統図：エッチング工程

フッ酸 ⇒ 貯蔵 ⇒⇒ ↓  
(フッ酸タンクNo.1) ↓

材料納品 ⇒ 材料水洗浄 ⇒ 表面処理 ⇒ 形状加工 ⇒ 検査 ⇒ 出荷  
(特定施設：表面処理H-1)  
⇒ 排水 ⇒ 排水処理施設へ

### ② 使用時間間隔

様式備考のとおり、有害物質貯蔵指定施設の場合には、当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載します。

### ③ 原材料の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

※有害物質使用特定施設の場合のみ記載します。

特定施設で使用する原材料について、種類、使用方法、使用量を記載します。

・商品名などで記載し、成分が読み取れないものについては、SDSを添付した上で、有害物質の有無を記載します。

※「硝酸」などの単体物質については、SDSの添付は不要です。

・使用量に関して、一定期間毎に補充するものなどは日割計算した値で記載します。

### ④ 貯蔵する有害物質の種類

※有害物質貯蔵指定施設の場合のみ記載します。

貯蔵する液体について、液体に含まれる有害物質の種類とその濃度を記載します。

### ⑤ その他参考となるべき事項

廃液の処理方法や、その他の言及しておく事項があれば記載します。

~~用水及び排水の系統(搬入及び搬出の系統)~~

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>フッ酸タンクNo. 1</b>                      搬入：タンクローリーにより供給                      搬出：配管を経由して、特定施設〇〇に供給                      系統図は添付〇のとおり</li>   <li>・ <b>廃液タンクA-1</b>                      搬入：特定施設〇〇、〇〇から容器で直接回収して搬入                      搬出：産業廃棄物として直接回収し、委託処理</li> </ul>			
用途別用水使用量	用	途	使 用 水	用水使用量(m <sup>3</sup> /日)

①

②

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

## 記載の流れ（別紙15）

※別紙15は、事業場内の用排水系統（搬入、搬出の系統）について記載する様式です。

### ① 用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

#### ○有害物質使用特定施設の場合

##### ・用水及び排水の系統図

特定事業場の配置図などを基に、事業場全体の用水（上水、井水など）及び排水（生活排水、雨水含む）の配管の系統を説明する図面を添付します。

・各排出口の位置、名称も明示します。

・建屋の屋内については、省略しても構いません。

ただし、届出を行う特定施設から建屋外までの用排水経路は個別に添付してください。

##### ・バランスシート

フローチャート等により、特定事業場全体の水量の流れを記載します。

・水量は通常と最大が分かるように記載します。

※様式の枠内に収まらない場合は、添付番号を示して別添とすることも可能です。

#### ○有害物質貯蔵指定施設の場合

##### ・搬入及び搬出の系統

有害物質貯蔵指定施設への搬入、搬出方法を記載します。

配管で接続している場合など必要に応じて、搬入、搬出経路を示した図を記載します。

### ② 用途別用水使用量

※有害物質使用特定施設の場合のみ記載します。

用水の使用状況を用途、市用水の種類別に記載します。

記載内容と①のバランスシートの間で整合がとれていることを確認してください。

1 添付図面等一覧

①

No	名 称
	特定施設の構造
添付○	指定施設の構造図
添付○	指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図
	特定施設の使用の方法
添付○	指定施設の設置場所
添付○	指定施設を含む操業の系統
	汚水等の処理の方法等
	汚水等の処理施設の設置場所 汚水等の処理施設までの集水及び導水の方法 排出水の排出方法 (以上の4項目は一図に示す。)
	汚水等の処理施設の構造図
	汚水等の処理施設の配置図
	汚水等の処理の系統
	汚水等の処理施設の設計計算書
添付○	搬入及び搬出の系統
添付○	その他、案内図

2 届出理由

②

<p>・有害物質貯蔵指定施設の設置 2台</p> <p>・フッ酸タンク No.1</p> <p>・廃液タンク A-1</p> <p>生産拡大のため、フッ酸タンクを新たに設置する。 また、特定施設からの廃液を直接回収ではなく、一度タンクに保存して産業廃棄物として処理する方法に切り替えるため、廃液タンクを設置する。</p> <p>工事着手予定年月日：令和〇年〇月〇日 使用開始予定年月日：令和〇年〇月〇日</p>
---

3 他法令による許可・届出の状況（手続）

県生活環境の保全等に関する条例	不要・未了・完了
下水道法	不要・未了・完了
騒音規制法	不要・未了・完了
大気汚染防止法	不要・未了・完了

③

4 特定施設一覧表 ④

施行令別表第1の番号	特定施設の名称	今回届出後の台数
65	酸又はアルカリによる表面処理施設	3
-	有害物質貯蔵指定施設	2 (今回：2台追加)

5 工場等概要 ⑤

資本金	千円	従業員数	人	業種(細分類)	
主要製品				操業時間	時～時
用途地域		敷地面積		建物面積	
担当部課係		担当者		電話	

## 記載の流れ（参考事項等）

※本様式は、平塚市の独自様式です。

### ① 添付図面等一覧

添付する図面等の目次として、対応する添付番号を記載します。

特定施設がベースになっているため、必要に応じて「指定施設」に読み替えてください。

### ② 届出理由

記載例や以下の定型文を参考に、届出の全体概要及び理由を記載します。

[定型文]

- ・有害物質貯蔵指定施設の設置（〇台）

<<設置する指定施設の名称>>

<<設置の理由>>

工事着手予定年月日：令和〇年～

使用開始予定年月日：令和〇年～

### ③ 他法令による許可・届出の状況（手続）

今回の届出に関連して他法令での手続きが発生するかについて、その状況を記載します。

### ④ 特定施設一覧表

特定事業場全体での特定施設等の設置状況を記載します。

- ・設置や変更のある施設については、対象となる台数についても説明します。

### ⑤ 工場等概要

特定事業場に関する概要を記載します。

- ・業種（細分類）については、「日本標準産業分類」を基に、4桁の番号と名称を記載します。

# 書類への押印が不要になりました

令和2年12月28日に「押印を求める手続の見直し等のための環境省関係省令の一部を改正する省令(令和2年環境省令第31号)」が施行されました。この省令改正等により、環境法令<sup>\*1</sup>に基づく手続の際、書類への押印が不要になりました。

また、神奈川県生活環境の保全等に関する条例についても、令和3年3月1日から書類への押印が不要になりました。

\*1:水質汚濁防止法施行規則、騒音規制法施行規則、振動規制法施行規則、大気汚染防止法施行規則、  
土壌汚染対策法施行規則、汚染土壌処理業に関する省令、悪臭規制法施行規則、  
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律施行規則(平塚市環境保全課所管法令のみ抜粋)

平塚市環境保全課では、押印の代わりとして、受付の際二次のような本人確認を行います。

なお、従来どおり、押印した書類を提出する場合には、これらの確認は行いません。

※本人確認方法については、他自治体の動向を踏まえ、内容を変更する可能性があります。

## [窓口での受付]

### ○届出者たる法人の従業員が提出する場合

- ー ①、②のいずれかの方法によって、本人確認を行います。
  - ① 「社員証(写真付)」、「社員証(写真なし)+運転免許証等の写真付き証明書類」、  
または「印鑑証明書(交付後6か月以内のもの)またはその写しの添付」により確認する。
  - ② 「連絡先確認票」を書類に添付する。(記載された連絡先にその場で電話確認します。)

### ○個人(または個人事業主)である届出者が提出する場合

- ー 次のいずれかの書類をもって、本人確認を行います。  
マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証、パスポート、  
または「印鑑証明書(交付後6か月以内のもの)またはその写しの添付」

### ○第三者(代理店の従業員等)が提出する場合

- ー 「連絡先確認票」を書類に添付する。(記載された連絡先にその場で電話確認します。)  
※「連絡先確認票」には、届出者たる個人(または個人事業主)や、法人に所属する担当者の  
連絡先を記載してください。

## [郵送での受付]

- 「連絡先確認票」を書類に添付する。(郵便物受取後、記載された連絡先に電話確認します。)



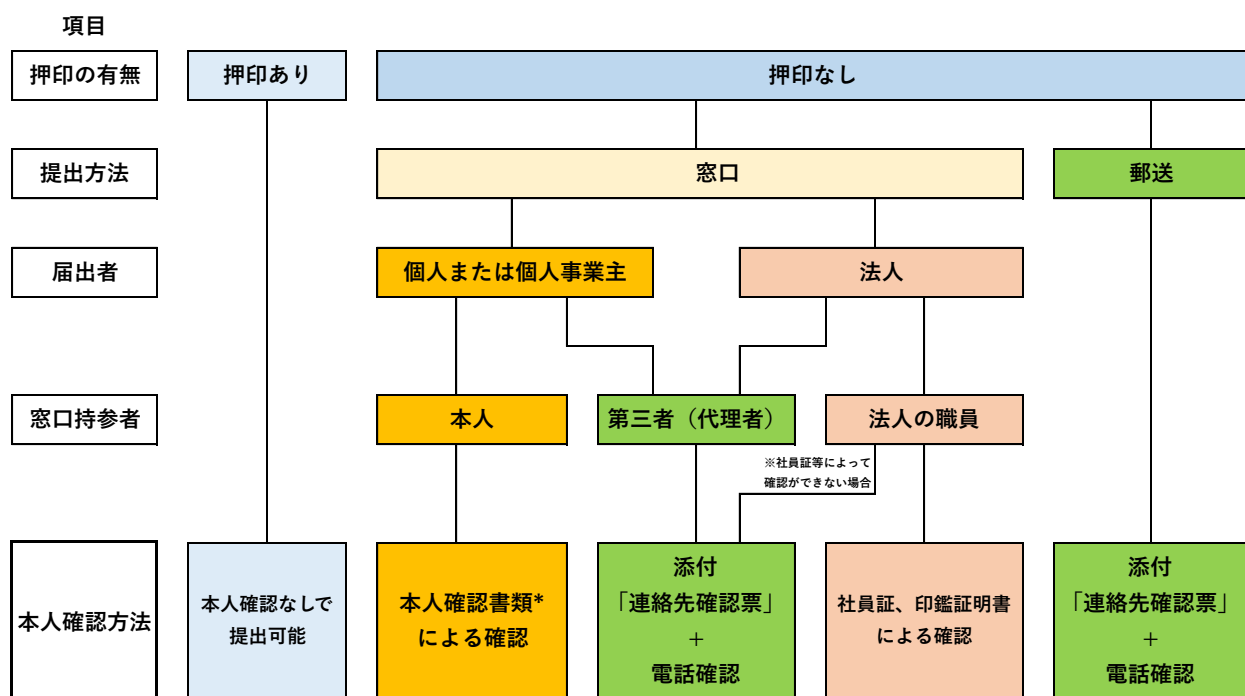
## 受付時の電話確認について

「連絡先確認票」による電話確認を行う場合、連絡先として記載された担当者の方に、以下の質問をさせていただきます。

確認が取れない場合は、受付ができない可能性がありますので御注意ください。

- ① 本日、あなた(の法人代表者)を届出(申請)者として、届出(申請)書が提出されました。どんな内容の手続きであるかを把握していますか？  
⇒手続きの内容について確認させていただきます。
- ② 書類を窓口へ提出しに来た方の所属する会社名や名前を把握していますか？  
⇒窓口への書類の提出を代行された方の所属や氏名を確認させていただきます。

## 受付時の本人確認方法の確認チャート



\*本人確認書類:マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証、パスポート、印鑑証明書

# 連絡先確認票

届出者名 (法人名等)	
担当部署名	
担当者氏名	(ふりがな)
電話番号	
E-mail (任意)	
備考	

※事務処理欄 (記載不要)

確認日	年 月 日
確認対象	<input type="checkbox"/> 担当者本人 <input type="checkbox"/> 担当者以外 (法人等: 届出を行う法人等の職員に限る) <input type="checkbox"/> 担当者不在等により、別の担当者から確認 <input type="checkbox"/> その他 ( )
備考	

- 備考
- 書類の届出者氏名欄に押印をしている場合は、添付不要です。
  - 提出する書類の末尾に添付してください。
  - 提出の際、記載された担当者に対して、電話で次の内容を確認させていただきます。
    - 今回行う手続きが、どんな内容の手続きであるかを把握しているか。
    - 窓口にて書類を提出された方の所属と氏名を把握しているか。
  - 確認が取れない場合は、受付ができない可能性がありますので御注意ください。

届出者が 個人 または 個人事業主 の場合

## 連絡先確認票（記載例）

届出者名 (法人名等)		届出者が個人の場合は、 法人名、部署名等の記載は 不要です。
担当部署名		
担当者氏名	(ふりがな) ひらつか たろう 平塚 太郎	フルネームで 記載してください。
電話番号	0463-XX-XXXX (携帯 0X0-XXXX-XXXX)	
E-mail (任意)	-----@0000. jp	
備考	時間帯により、 「平塚 花子」が担当者として対応します。	

### ◆◆◆ 手続きの前に御確認ください ◆◆◆

手続きを受付ける際に、上記の連絡先に本人確認の電話連絡を行います。

担当者氏名の欄には、提出日当日に連絡がとれる方の氏名を記載してください。

また、電話での確認連絡があり、備考3の質問を受けることを担当者の方に伝えておいてください。

- ※ 備  
確  
備
- 書類の届出者氏名欄に押印をしている場合は、添付不要です。
  - 提出する書類の末尾に添付してください。
  - 提出の際、記載された担当者に対して、電話で次の内容を確認させていただきます。
    - 今回行う手続きが、どんな内容の手続きであるかを把握しているか。
    - 窓口にて書類を提出された方の所属と氏名を把握しているか。
  - 確認が取れない場合は、受付ができない可能性がありますので御注意ください。

届出者が 法人 の場合

## 連絡先確認票（記載例）

届出者名 (法人名等)	(株)〇〇 平塚工場	窓口を持参する方（委任を受けた第三者等）の情報ではなく、届出を行う法人に所属する担当者の情報を記載してください。
担当部署名	施設管理課	
担当者氏名	(ふりがな) ひらつか たろう 平塚 太郎	フルネームで記載してください。
電話番号	0463-XX-XXXX 内線 XXXX	固定電話の番号及び内線番号を記載してください。
E-mail (任意)	-----@0000. jp	
備考		

※  
確  
確

◆◆◆ 手続きの前に御確認ください ◆◆◆

手続きを受付ける際に、上記の連絡先に本人確認の電話連絡を行います。

担当者氏名の欄には、提出日当日に連絡がとれる方の氏名を記載してください。

また、電話での確認連絡があり、備考3の質問を受けることを担当者の方に伝えておいてください。

備

- 2 提出する書類の末尾に添付してください。
- 3 提出の際、記載された担当者に対して、電話で次の内容を確認させていただきます。
  - ・今回行う手続きが、どんな内容の手続きであるかを把握しているか。
  - ・窓口にて書類を提出された方の所属と氏名を把握しているか。
- 4 確認が取れない場合は、受付ができない可能性がありますので御注意ください。